ご参考資料

2022年2月4日

大　東　銀　行

2022年3月期第3四半期の業績について

＜概　要＞

【前年同期比減収増益】

連結ベースで経常収益96億39百万円(前年同期比△1.1%)、経常利益18億78百万円(同＋51.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益11億3百万円(同＋32.3%)と**前年同期比減収増益**の決算となりました。

【コア業務純益(除く投資信託解約損益)前年同期比＋85.8%と大幅に増加(単体)】

銀行の本来業務の収益力を示すコア業務純益(除く投資信託解約損益)は、貸出金利息の増加や、預り資産手数料の増加等に伴う役務取引等利益の増加に加え、減価償却費用の減少等による経費の減少などにより、前年同期比11億6百万円増加して23億95百万円となりました。

【貸出金残高6,262億円　前年同期末比＋531億円（単体)】

貸出金残高(末残)は、住宅ローンが増加（前年同期末比＋474億円）したことなどから、前年同期末比531億円増加して6,262億円となり、**過去最高を更新**しております。

【総預金＋預り資産残高9,657億円　前年同期末比＋302億円（単体)】

総預金＋預り資産残高は、前年同期末比302億円増加して9,657億円となり、**過去最高を更新**しております。

【自己資本比率　10%台で高い健全性を維持】

自己資本比率は、連結で10.30%、単体で10.02%といずれも10%台を確保しております。

【通期見通し・配当予想】

2022年3月期通期業績予想(連結及び個別)に変更はありません。

なお、配当金は30円の期末配当を予定しております。

◇　損益の状況（単体）

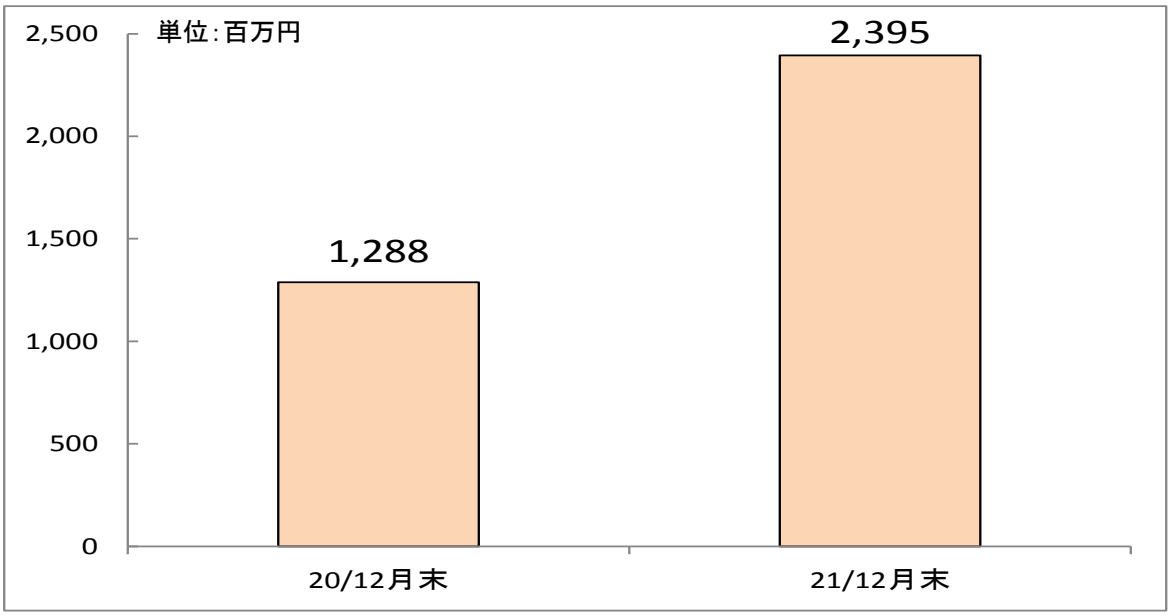
（単位：百万円）

	2021年12月期実績	前年同期実績	前年同期比	
			額	率
経常収益	8,780	8,935	△155	△1.7%
実質業務純益	1,878	1,409	＋468	＋33.2%
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	2,395	1,288	＋1,106	＋85.8%
経常利益	1,805	1,163	＋641	＋55.1%
四半期純利益	1,069	798	＋271	＋34.0%

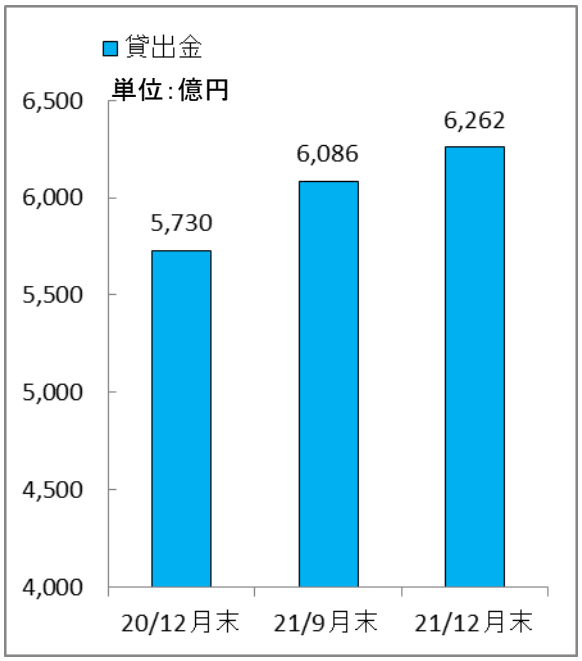
（参考：連結）　　（単位：百万円）

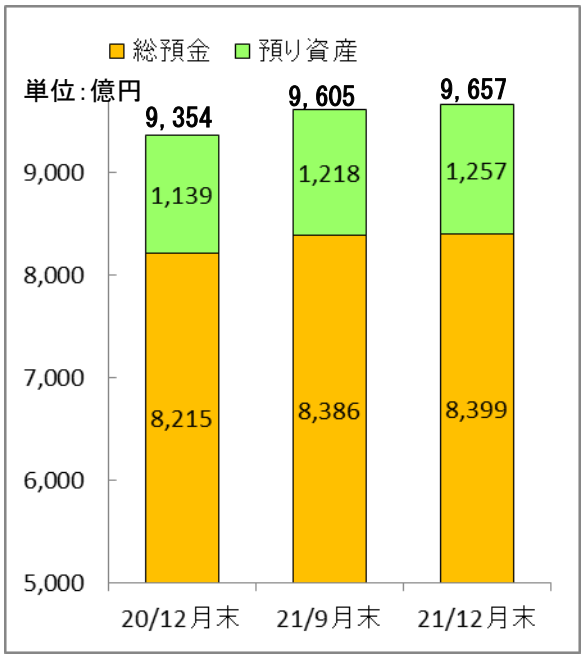
	2021年12月期 実績	前年同期実績	前年同期比	
			額	率
経常収益	9,639	9,746	△107	△1.1%
経常利益	1,878	1,238	＋640	＋51.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,103	833	＋269	＋32.3%

◇ コア業務純益（除く投資信託解約損益）



◇ 貸出金、総預金＋預り資産残高（単体）





以上